



令和3年度 学力調査等の結果について

学力調査担当主幹 野田 隆嗣

令和3年度の学力調査等の結果をお知らせします。杉並区の「特定の課題に対する調査」は3～6年生が対象で、3年生は国語・算数の2教科、4年生から6年生は国語・算数・理科の3教科で実施しました。国の「全国学力・学習状況調査」は6年生が対象で国語・算数の2教科で実施されました。また、それぞれの調査において、「学習・生活についてのアンケート」も実施されました。

なお、都の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」は、これまで5年生を対象に教科のテストを実施していましたが、今年度から4～6年生を対象とした意識調査となりました。都の調査の結果については、実施後、改めて報告いたします。

1 「学力・学習状況等の調査」正答率

(1) 杉並区「特定の課題に対する調査」結果

杉並区の「特定の課題に対する調査」は、杉並の子どもの学力の実態をもとに、区全体で定着が不十分な傾向がある領域に重点を置いて行った学習状況調査です。そのため、国の調査と比較して難易度が高く、正答率が低くなっています。

	国語		算数		理科	
	杉並区	本校	杉並区	本校	杉並区	本校
3年	60.7	62.8	64.9	65.8		
4年	72.2	72.9	67.0	67.8	65.4	63.8
5年	72.8	80.4	67.2	74.8	66.4	72.8
6年	74.7	76.9	66.0	69.8	70.6	73.7

(2) 国「全国学力・学習状況調査」結果(正答率)

	国語			算数		
	全国	東京都	本校	全国	東京都	本校
6年	64.7	68	76	70.2	74	81

国や区の調査結果を見ると、4年生の理科を除く全ての学年・教科で平均正答率を上回っています。本校の児童の学力は中間的な位置より、上位にあることがわかります。特に、5年生で平均正答率を大きく上回っています。

2 区の調査における学習状況の評定の分布

杉並区特定課題調査では、学習の定着状況を、区の基準により5段階で評定しています。

「R1」…学び残しが多い段階

「R2」…特定の課題でつまずきがある段階

「R3」…おおむね定着がみられる段階

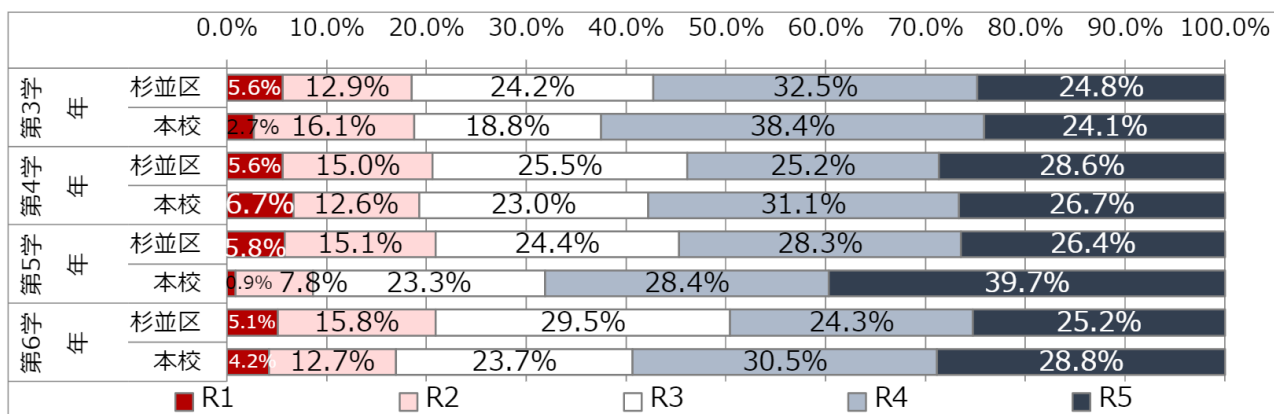
「R4」…十分定着がみられる段階

「R5」…発展的な力が身に付いている段階

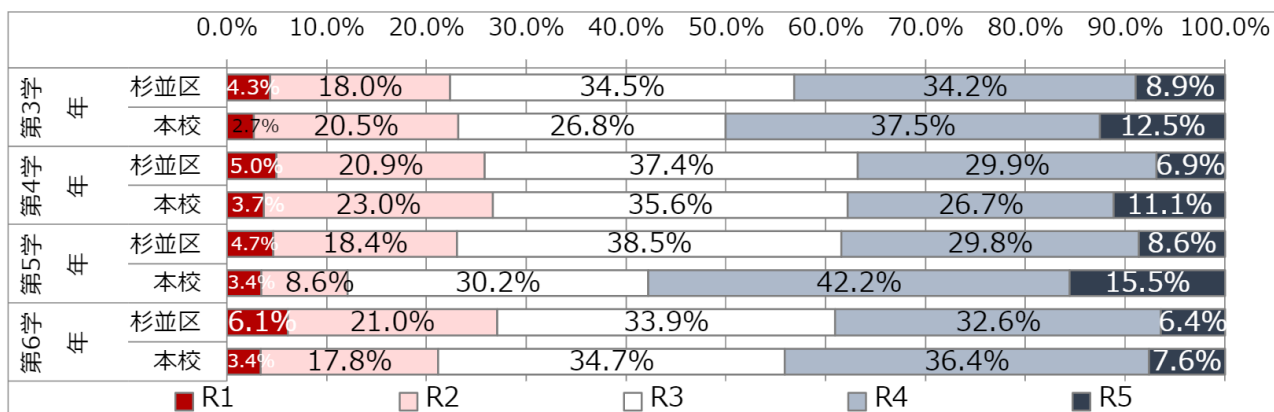
今年度の結果について、表にまとめましたのでご覧ください。

(1) 評定の分布状況

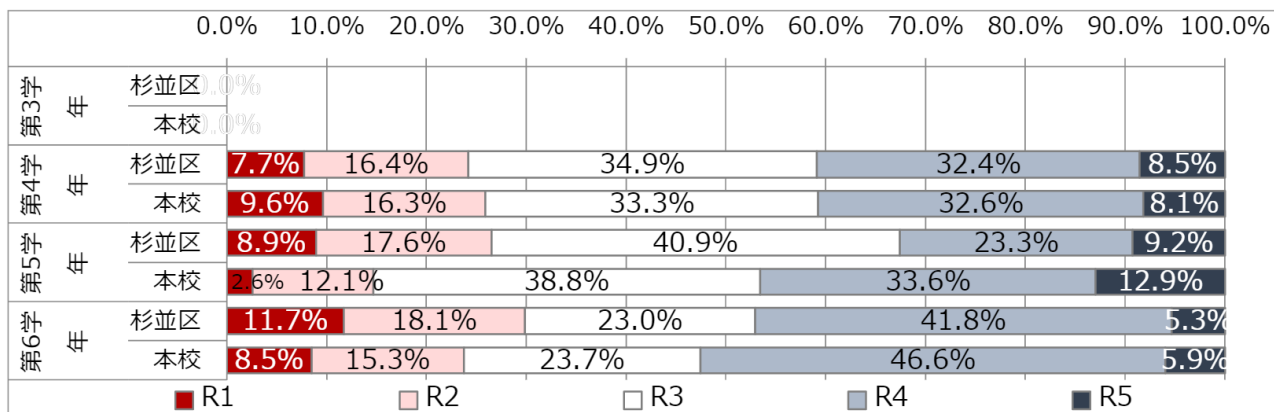
① 国語



② 算数



③ 理科



3 区の調査における教科別の概況

(1)国語

3年生から6年生までの全学年で基礎問題・活用問題共に区の平均を上回りました。しかし、領域別にみると「話すこと・聞くこと」領域において、比較的正答率が区の平均に近く、学年によっては平均を区の平均を下回るなど、苦手としている児童が多いことがわかりました。

本校では、校内研究を中心に、「対話」を重視した授業づくりを行っています。話し合い活動を積極的に取り入れて、相手の考えを受け止めたり、もっと知りたいと思ったことをさらに質問したりして、自分の考えを整理したり深めたりすることを目指しています。また、朝の時間を活用して今年度から「高二トーク」の時間を設定しました。各学年で年間計画を作成し、6年間を通して計画的に「話す力」「聞く力」を高めていきます。

(2)算数

全ての学年で、基礎問題・活用問題共に区の平均を上回りました。しかし、領域別には3年生の「図形」が平均を下回りました。また、4年生では、「図形」「測定」「データの活用」の3つの項目で、わずかではありますが、区の平均を下回っています。5年生、6年生は、領域別にみても区の平均を上回っており、全体的に理解が十分にできていると言えそうです。ただ、R1層と R2層の児童を合わせると、5年生で12%、6年生で21.2%と、算数の理解が十分でない児童が一定数いることがわかります。個別に結果をみると、R1層と R2層の児童の多くが、「数と計算」領域において正答率が50%未満となるなど、基礎的な知識・技能に課題があることがわかりました。

中学年では、図形の指導において具体物を用いて学習に取り組むなどして、体験的な学習に取り組み、理解を深められるようにします。また、本校では、2年生から習熟度別の少人数指導を行っています。それぞれの習熟度に合わせて、既習事項を振り返ったり、反復指導を行ったりして、基礎的な知識や技能の習熟を図ります。児童に配布したタブレットPCのドリルコンテンツの整備も進めています。授業や家庭学習で活用することで、基礎基本の定着を図ります。

(3)理科

5年生と、6年生では、基礎問題・活用問題共に区の平均を上回りました。4年生では、応用問題は区の平均を上回りましたが、基礎問題では、区の平均を下回る結果となりました。全体的によく理解できている一方で、R1層、R2層の児童を合わせると各学年に2割前後います。理科に苦手意識をもつ児童の学力の向上が課題です。また、領域別にみると、ほとんどの学年が各領域とも区の平均を上回っていますが、4年生では「生命」「地球」で、6年生では「粒子」で、区の平均を下回る結果となりました。

理科では、一人一人に「なぜだろう」と課題意識をもたせるような導入の工夫をし、実験や観察などの体験的な活動を通して課題解決を行うことで、自然の事物・現象について実感を伴った理解につなげたいと考えています。本校では理科支援員を週2回配置し、4～6年生の授業を中心に、T2 となって授業補助を行うようにしています。また、より専門性の高い授業を目指して、6年生では2学期から教科担任制を導入しています。日々の授業をより充実させることで、きめ細やかな授業を行い、理科が苦手な児童も分かる授業づくりを目指します。

4 学年ごとの課題と授業改善策

(1) 国語

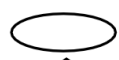
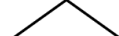
	課 題	改 善 策
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・大事なところを落とさずに聞いたり、伝えたいことを分かりやすく伝えることが苦手である。 ・文章を表現したり理解したりするために必要な語彙が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「相手が伝えたいことは何かを考えながら聞く」など、ポイントを意識して話を聞くよう指導する。話すことの内容や順番を、付箋を使って整理してから話す経験を積む。 ・授業の中で、辞書を活用する時間を設ける。また、朝読書や授業時間などで、読書活動を充実させ、様々な表現に触れる。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」についての理解が十分でなく、特に「質問をしながら聞くこと」が苦手な児童が多い。 ・読み取ったことを、自分の言葉で伝えるのが苦手な児童が多い。 ・言語事項の理解について、個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協働して課題に取り組む時間を十分に取り、対話を充実させる。掲示物や動画資料を用いて対話の指導を繰り返し行う。 ・授業や、朝学習「高二トーク」などで、自分の意見を伝える活動を充実させる。「理由を明確にする」「順序立てて話す」など、話し方のポイントを指導する。 ・新出漢字の学習の際に、丁寧に「とめ」「はね」「はらい」や書き順を確認する。宿題でも反復して練習する機会を設ける。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の要約や、読み取ったことを活用して自分の考えをもつことに課題が多い。 ・課題設定を個別に行っているが、学習の達成感や学習の定着に結びつくよう、さらに改善が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究やまとめ学習の中で、叙述を根拠に自分の読みを表現できるようにする。ワークシートや掲示物など、児童の実態に合わせて手立てを講じる。 ・「読むこと」領域の学習では、個別の学習課題を設定して授業を行う。「自分が深めたいこと」を個別の課題とすることで、個人の学びたい思いを大切に、授業を進める。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・何を話題にして、どのような構成で、どのような表現を使って書くかを考えながら、文章を書くことが苦手な児童がいる。 ・言葉の意味や文法において、意味や原理を十分に理解できないまま、読み進めている児童がいる。 ・文章の要旨をまとめ、自分の考えをもつことが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告文や作文などを書く時の基本的な流れを提示する。特に、苦手な児童には個別に指導を行う。書いた文を読み合ったりして、多様な表現に触れる経験を積ませる。 ・物語文や説明文の読み取りの導入に、丁寧に意味調べを行い、正確に読めるよう指導する。 ・キーワードなどに着目させながら書くことで、自分の考えをもつ活動を多く取り入れる。考えを聞いたり、発表したりする経験を通して、自分の考えを広げ深める機会とする。

(2) 算数

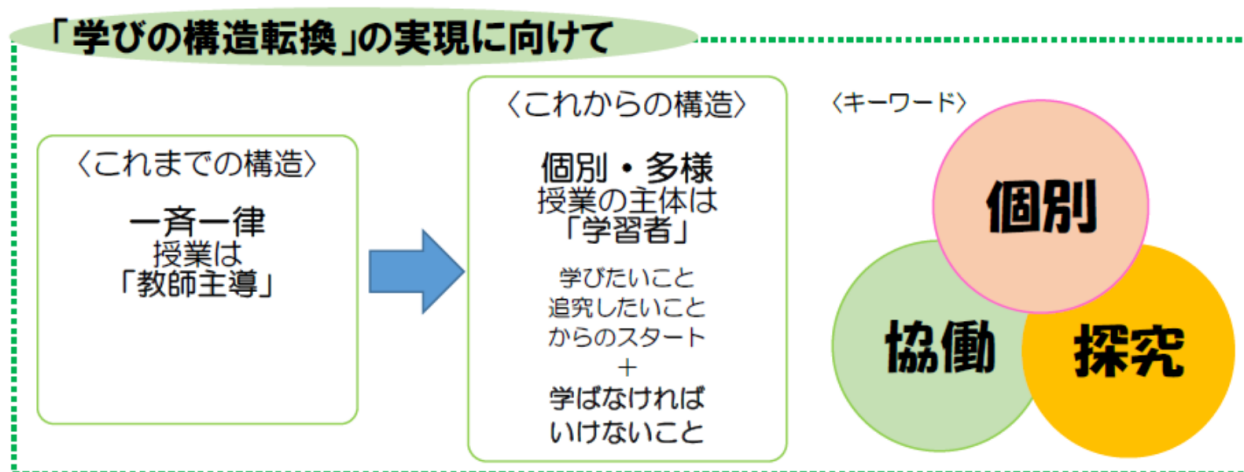
	課 題	改 善 策
3年	<ul style="list-style-type: none"> 文章問題や、活用問題が苦手である。 答えを見直したり、考えが正しいかじっくり考えたりせずに、課題を提出する児童がいる。 自分の考えを言葉で表したり、説明したりすることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題文の「何を問われているか」や「数字」に線を引かせる。必要な情報を意識して読むことを身に付けさせる。 答えの見積もりを立ててから計算に取り組み、自分自身で間違いに気付くことができる力をつける。 机間指導を通して、一人で学習を進めるのが苦手な児童には、「内容」「書く順序」を一緒に考えるなど個別指導を行う。ペア、グループ等、学習形態を工夫することで、自分の考えを説明する機会を充実させる。
4年	<ul style="list-style-type: none"> 3位数×2位数の計算、減法の計算のきまりを使った問題の正答率が低く、桁数が多くなるにつれて、計算ミスが多くなっている。基本的な計算技能の習熟に課題がある。 正三角形や二等辺三角形など図形の基本的な性質の理解が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の前後や高2タイムで復習プリントを行い計算の習熟を図る。学習ソフト「ペンまーる」を活用し、各自の課題や技能に合わせて習熟する機会を設ける。 正三角形や二等辺三角形など前学年までに学習したものも含めて、図形の性質をもう一度押さえる。また、作図をさせることで、実感的な理解を深める。
5年	<ul style="list-style-type: none"> 学力面で全体的に高いことから、R1、R2層の児童の自信が高まりにくい傾向がある。 学習の個別化について、さらに推進する必要がある。 応用的な問題や、考えの説明に対して粘り強く取り組めない傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な内容の定着とともに、自分の考えを伝える活動を行う。 学習内容だけでなく、学び方に対するめあてを自分で設定する機会を設ける。児童自ら課題意識をもって取り組み、振り返りを行う。 多様に考えを広げたり、既習事項のつながりを意識したりできるように指導する。単元内容によっては、自由進度で学習を行い、個別で学習を進める。
6年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な加法減法(筆算も含めて)はできるが、小数同士のわり算、異分母分数の加減計算に課題がある。小数点の移動、最小公倍数などの既習事項が十分に身に付いていない児童もいる。 筋道を考えること、考察し自分の言葉で説明することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 異分母分数の加減計算と小数同士のわり算の技能定着のために、割り算の筆算と小数点の移動(10倍、100倍など)についてプリントで随時復習していく。異分母同士の分数計算においては、最小公倍数の確認を何度も行い、分母にも分子にも同数をかけた場合は同じ数になっていることを確かめる。 授業の中で、自分の考えを書いて説明する活動を行う。コースの実態にあわせて、問題提示の仕方や説明のさせ方を工夫する。

5 学習・生活についてのアンケートより

学習・生活についてのアンケート調査は、自己意識や生活実態、学習状況の諸側面を児童が自己評価できるように設計されています。本校が一昨年度から校内研究で取り組んでいる国語の「学びの構造転換」に関わる項目と、「自己肯定感・自己効力」「やり抜く力」「他者への受容」に関する項目の数値について、ご報告します。

 平均を大きく(5ポイント以上)上回ったもの。
 区平均を下回ったもの。

資料「学びの構造転換」について(令和2年度 本校校内研究リーフレットより)



「学びの構造転換」とは、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、杉並区が推進している学習形態です。学習者(児童)の意欲を軸とした授業作りを行います。子どもたちは、教師から与えられるのではなく、自分たちで学習方法や計画などを選んだり決めたりして、学びを進め理解を深めていきます。

国語「学びの構造転換」に関連する質問項目(肯定的な回答をした児童の割合)

	解決を目指す課題や問題、めあてを自分で決めること。(7-1)			必要な時に、必要な人と協力すること。(7-5)		
	杉並区	本校	差	杉並区	本校	差
3年	44.0	50.6	6.5	63.6	72.9	9.4
4年	37.0	53.4	15.8	67.0	70.8	3.8
5年	38.6	51.7	13.1	70.5	85.2	14.7
6年	39.1	72.9	33.8	74.1	79.7	5.6
全校	39.1	54.5	15.4	67.3	71.9	4.6

全体的に、区の平均値を大きく上回っています。「解決を目指す課題や問題、めあてを自分で決めること」という項目については、学年が上がるにつれて数値が高くなっています。国語の物語文を中心に、自分たちで学びを進める授業を展開してきたことで、個別の課題を探究することが学習習慣として身に付いてきていると言えそうです。また、友達と協働するには対話が不可欠です。「必要な時に、必要な人と協力すること」についても肯定率が区の平均を上回っていることから、対話を重視してきた成果が出ていると考えられます。

「自己肯定感・自己効力」に関連する質問項目（肯定的な回答をした児童の割合）

	今の自分に満足している。 (1-9)			今の自分を「好き」と言える。 (1-12)		
	杉並区	本校	差	杉並区	本校	差
3年	66.9	60.7	▲6.1	62.6	65.2	2.6
4年	61.6	62.4	0.8	60.3	67.2	6.9
5年	56.4	62.9	6.5	58.7	79.3	20.6
6年	47.0	56.8	9.8	51.7	54.2	2.5
全校	57.6	60.5	2.9	58.0	66.3	8.3

「他者への受容」に関連する質問項目（肯定的な回答をした児童の割合）

	自分とちがう意見や考え、気持ちも大切にできている。(1-5)			人の気持ちを分かろうとしている。(1-22)		
	杉並区	本校	差	杉並区	本校	差
3年	79.7	79.3	▲0.4	86.1	87.3	1.1
4年	79.1	81.2	2.1	86.3	91.0	4.7
5年	84.8	94.0	9.1	90.0	98.3	8.2
6年	86.8	93.2	6.4	90.7	94.9	4.2
全校	82.2	86.3	4.1	87.8	92.1	4.3

「やり抜く力」に関連する質問項目（肯定的な回答をした児童の割合）

	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。(2-6)			自分は、最後までやりぬくなど根気強いほうだと思う。(2-13)		
	杉並区	本校	差	杉並区	本校	差
3年	86.9	89.0	2.1	70.7	66.4	▲4.3
4年	89.6	91.7	2.1	64.8	70.2	5.5
5年	92.1	95.7	3.6	62.4	70.4	8.0
6年	91.1	94.1	2.9	59.7	63.2	3.5
全校	89.6	91.7	2.1	64.1	66.5	2.4

学力調査で計測される能力を一般に「認知能力」と呼びます。一方で、「忍耐力がある」とか「社会性がある」とか、「意欲的である」といった、人間の気質や性格的な特徴のようなものは「非認知能力」と呼ばれています。

非認知能力は、単に学力を高めるだけでなく、生涯にわたって自分を成長させたり、豊かな人間関係を構築することにつながります。新型コロナウイルス感染症対策のために休校となっていたところと比べると、学校において、児童同士の関わりをもつことができるようになりました。感染症対策を十分に講じた上で、先生や同級生、異学年の児童など、様々な人との関わりを充実させ、「非認知能力」についても培う場所でもあるという認識のもと、全ての教育活動を通してこれらの力を高められるように取組を行ってまいります。そして、児童の豊かな将来につながる素地を育てていきたいと考えています。

第4回 学校運営協議会記録

1. 日時 令和3年9月25日(土) 13時~14時40分

2. 場所 校長室

3. 出席者 熊耳 前田 向 金澤 加藤 右寺 秦 橋本
(事務局) 久野 上田 野田 杉田 中村

4. 議題

(1) 会長あいさつ

- ・夏休みの終盤、突発的にパラリンピック観戦の提案があった。先生方は「子どもたちのため」に献身的に対応してくださったと伺った。改めてお礼を申し上げたい。
- ・一方、町田市では一人に1台配布されたタブレットでいじめを受け、小学6年生の女兒が悲しい選択をする事件が起きた。今日、ICT、ギガスクールなどと言われ、機器を活用して教育効果を高めようとしている。機器の準備やその指導法にのみ汲々とせず、子どもたちの息遣いを受け止める温かい高2の教育をこれからもよろしくお願ひしたい。

(2) 校長あいさつ

- ・コロナ禍の中で変更を迫られる場面が多々あった。子どもたちのためにどうすべきかという視点で、今年度後半に向け計画を見直した。

(3) 教育活動報告

- ①**もちの木について**：地域に向けては学校だよりで紹介したが、もちの木を老朽化のため、8月5日に伐採した。もちの木の子どもともいえる「若芽」を赤門近くで育てている。
- ②**学校連携観戦**：区から安全対策を講じてパラリンピック観戦ができるので、全家庭に意向調査をしてほしいとの要請があった。PCR検査を経て児童100名と引率教員が5台のバスに分散して観戦した。
→(学校)：往復のバスの中を含め、全行程で子どもたちはルールを守り立派に行動をした。
→(委員)：苦渋の観戦決断はお知らせで分かった。会長とは連絡をとったということでよかったが、観戦前後の学校の様子を委員の我々にも知らせてほしかった。
- ③**授業公開の計画**：今年度前半は、保護者に通常の授業を見ていただく機会がなかった。コロナ対策をしっかりと行い、可能な限り学校を開いていくことにした。また、久我山学級と5年生、6年生の移動教室は、宿泊施設が確保でき時期を変更して実施する予定である。
→(委員)：感染対策を考慮し、保護者にも協力を求めて学校を開いていただきありがたい。
- ④**オンラインホームルーム**：10月9日の下校後、4・5・6年生、久我山学級3・4組対象に実施する。
- ⑤**家庭用ペンまー**：タブレットを活用し、自宅で自学自習ができるソフトの活用を進めている。
- ⑥**学習発表会**：演劇のみの発表会ではなく、学習の発表の場として「学習発表会」と名称を変えた。感染対策をして、可能な限り他学年同士で学習の成果を観合えるように工夫していく。
- ⑦**その他**：6年1組担任が今年度末まで休職する。その保護者会を開き説明した。副校長を担任として、教科担任制の仕組みを取り入れ全校体制で対応する。

不織布マスクについて

先日「児童の感染防止のために」という文書でお知らせしました通り、今後は原則不織布マスクの着用をお願いいたします。ただし、諸事情により不織布マスクの着用が難しい場合には対応いたしますので担任にご連絡ください。

10月の生活目標『友達と仲良く遊ぼう』

暑さも和らぎ、外遊びには絶好の季節になりました。新鮮な空気の中で過ごすことは、身体にとってもよく、友達と遊ぶことにより、コミュニケーション能力も培われます。天気の良い日には、声をかけ合って、校庭で思い切り体を動かしてほしいです。不織布マスクの推奨、鼻までの着用や、こまめな手洗い・うがいも引き続き行っていきます。適切な感染症対策を行った上で、お互いが安心して楽しく友達と関わりをもてるよう、ご家庭でも引き続き体調管理をよろしくお願ひいたします。

～10月の行事予定～

日	曜	行事等	授業時数						校庭開放
			①	②	③	④	⑤	⑥	
1	金	都民の日							
2	土	サイエンスグランプリ始							
3	日								C
4	月	委員会(10月) サッカー教室(久) 読書旬間始 サイエンスグランプリ終	5	5	5	5	6	6	
5	火	安全指導 町たんけん② あいさつ運動(青5、青6)	5	5	6	6	6	6	
6	水		4	4	4	4	4	4	A
7	木	授業公開③2,3校時	5	5	6	6	6	6	
8	金	遠足(久) 読み聞かせ①②③⑤ SC	5	5	5	6	6	6	
9	土	授業公開 特別時程2時間 オンラインホームルーム④⑤⑥久(3,4組) 校外学習(地域巡り)③ CS	2	2	2	2	2	2	
10	日								C
11	月	クラブ活動(5) あいさつ運動(青3、青4)	5	5	5	6	6	6	
12	火	自転車安全教室③ あいさつ運動(青3、青4)	5	5	6	6	6	6	
13	水	生活科見学①	5	5	5	5	6	6	B
14	木	特別時程4時間 避難訓練 就学時健診	4	4	4	4	4	4	
15	金		5	5	5	6	6	6	
16	土								
17	日								C
18	月	あいさつ運動(青1、青2) 防災館⑤ 学習発表会時間割始	5	5	5	6	6	6	
19	火	生活科見学② たかに教室指導なし	5	5	6	6	6	6	
20	水	小中一貫の日(中学校体験⑥)	4	5	5	5	6	6	B
21	木		5	5	6	6	6	6	
22	金	特別時程 あいさつ運動(青1、青2) 読書旬間終 研究授業(3-4)5校時 SC	4	4	4	4	4	4	
23	土								
24	日								C
25	月		5	5	5	6	6	6	
26	火		5	5	6	6	6	6	
27	水	研究授業(6-2)5校時	4	4	4	4	4	4	B
28	木		5	5	6	6	6	6	
29	金		5	5	5	6	6	6	
30	土								
31	日								C

○の数字は学年、(久)は久我山学級を表します。
SC・・・スクールカウンセラー来校日です。
水曜日は原則、毎週特別時程です。
PTA・地域行事等は斜体で表します。

校庭開放について

水曜特別時程4時間・・・13:30～17:00 (A)
水曜特別時程6時間・・・14:40～17:00 (B)
日曜日・祝日・・・・・・13:00～17:00 (C)

～11月の行事予定～

日	曜	行事等	授業時数						校庭開放
			①	②	③	④	⑤	⑥	
1	月	委員会(11月)	5	5	5	5	6	6	
2	火	安全指導 学習発表会会場設学⑥	5	5	5	5	5	6	
3	水	文化の日							C
4	木	学習発表会(児童鑑賞日1)	5	5	6	6	6	6	
5	金	学習発表会(児童鑑賞日2) SC	5	5	5	6	6	6	
6	土	学習発表会(保護者観賞日) 会場片付け⑤ CS	5	5	5	5	6	6	
7	日								C
8	月	振替休業日							
9	火	たてわり活動(赤) 宿泊前健診⑤ 避難訓練 移動教室説明会(久)	5	5	5	6	6	6	
10	水	富士方面移動教室⑤始	4	4	4	4	6	4	A
11	木	たてわり活動(青)	5	5	5	5	6	6	
12	金	富士方面移動教室⑤終 SC 美術鑑賞教室④ 読み聞かせ①②④⑥	5	5	5	6	6	6	
13	土								
14	日								C

緊急事態宣言による行事変更について

緊急事態宣言期間中により、行事の変更についてお知らせします。

【中止とする行事】

10月 9日(土) 集団下校
10月28日(木) 特別支援連合運動会 久我山学級

【延期とする行事】

5年移動教室(富士方面) 11月10日(水)～12日(金) へ
6年移動教室(弓ヶ浜) 12月13日(月)～15日(水) へ

移動教室の実施時期の変更により、服装や持ち物等が変更になります。詳細については、学年からのお知らせをご確認ください。

今後の状況により、他の行事についても変更する場合があります。学校だより、学年だよりをご確認ください。

授業公開・オンラインホームについて

<10月9日(土)>

●授業公開(3年生を除く全学年)※当日は特別時程となります
1校時・・・(8:35～9:20) 出席番号奇数児童(各家庭1名)
2校時・・・(9:25～10:10) 出席番号偶数児童(各家庭1名)
全校児童下校 10:25

●オンラインホームルーム(4年,5年,6年,久我山学級(3組,4組))
11:10～11:30 各学年1組、2組
11:40～12:00 各学年3組、4組、久我山学級(3組,4組)
※内容 出席確認、宿題の連絡等

<10月7日(木)>

●3年生の授業公開について
2校時・・・(9:40～10:25) 出席番号奇数児童保護者(各家庭1名)
3校時・・・(10:45～11:30) 出席番号偶数児童保護者(各家庭1名)